

(別紙3) 帳票詳細要件

<本資料について>

本資料は、事務局にて既存システムや介護保険の標準仕様書を踏まえて帳票を作成した上で、分科会、WTでの議論に先立って、構成員（ベンダー、自治体の皆様）に意見照会し、当該照会での意等見を踏まえて修正したもの。

上記以外に介護保険の標準仕様書で修正されている内容の反映、文言マスタの対応、前回の分科会・検討会の決定内容の反映を実施。

資料中の文字色の差異は以下。

ピンク色・・・意見照会時からの変更内容

水色・・・・・・標準オプション部分

大分類		小分類 (帳票タイトル)	頁番号	
後期高齢	1.共通	01. 通知書印刷用帳票	...	
		02. 宛名シール印刷用帳票	...	
	2.被保険者資格	被保険者資格に関して出力する住民向け帳票はなし。 (被保険者証は、広域標準システムの様式に準拠)		
		3.保険料賦課	01. 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定 (変更) 通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額 (仮徴収) 変更通知書、特別徴収中止通知書	...
	02. 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書兼納入通知書		...	
	03. 後期高齢者医療保険料口座振替開始 (変更) のお知らせ		...	
	04. 後期高齢者医療保険料納付誓約書		...	
	05. 納付書		...	
	簡易申告書の様式は広域標準システムに準拠			
	4.保険料収納	01. 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書	...	
		02. 後期高齢者医療保険料還付 (充当) 通知書	...	
		03. 後期高齢者医療保険料充当通知書	...	
		04. 後期高齢者医療保険料還付請求書	...	
		05. 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票	...	
		06. 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ	...	
07. 後期高齢者医療保険料納付証明書		...		
後期高齢者医療保険料納付確認書の様式は証明書と共用				
05.滞納管理	01. 後期高齢者医療保険料督促状	...		
	02. 後期高齢者医療保険料催告書	...		
	03. 後期高齢者医療保険料催告書別紙	...		
	04. 後期高齢者医療保険料分納誓約書	...		
	05. 後期高齢者医療保険料分納承認連絡書	...		

業務		01. 共通		帳票名称		01 通知書印刷用帳票	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	文書番号	●	●		機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする		
2	発行年月日	●			和暦表記		
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号		
4	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名		
5	自治体の印	●			パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している公印を出力する		
6	帳票タイトル	●			パラメタにより設定が行えること 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する		
7	帳票本文	●			パラメタにより設定が行えること 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する		
8	問い合わせ先						
	問い合わせ先出力有無	-	-	-	通番9～通番18の問い合わせ先項目については、パラメタにより出力有無を変更でき、「有」となっている場合は、通番9～通番18の項目を出力すること		
9	問い合わせ先タイトル	●			「問い合わせ先」の文言を出力		
10	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名		
11	〒	●			「〒」の文言を出力		
12	担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所		
13	TEL	●			「TEL」の文言を出力		
14	担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定		
15	FAX番号		●		「FAX番号」の文言を出力		
16	担当部署FAX番号		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定		
17	メール		●		「メール」の文言を出力		
18	担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定		
19	不服の申立						
	不服の申立出力有無	-	-	-	通番20～通番26の不服の申立項目については、パラメタにより出力有無を変更でき、「有」となっている場合は、通番20～通番26の項目を出力すること		
20	不服の申立タイトル	●			文言マスタで設定された文言を印字する (印字例) 不服の申立		
21	不服の申立本文	●			文言マスタで設定された文言を印字する [担当部署名]: システム印字項目 (マスタ管理している不服申立先情報を設定 (市区町村名+部署名)) [担当自治体名]: システム印字項目 (マスタ管理している不服申立先情報を設定) (印字例) この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後(次の1から3までのいずれかに該当するときに除く。)でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。		
22	〒	●			「〒」の文言を出力		
23	担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定		
24	担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定		
25	TEL	●			「TEL」の文言を出力		
26	担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定		

業務		01. 共通		帳票名称		02 宛名シール印刷用帳票	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	1人目	郵便番号	●				
2		住所	●				
3		方書	●				
4		氏名	●		機能・帳票要件 (1. 共通) 機能ID 1.7.10. のとおり、敬称を付けること		
5		対象者氏名		●	パラメタにより出力有無を変更でき、氏名に本人以外 (送付先や家族等) の値が設定されている場合は、本人氏名を上記の編集条件で印字する ”(+氏名+全角スペース+” 様分) ” ※送付先が設定されていてその宛名が本人以外の場合は、本人氏名を上記の編集条件で印字する ※当制御を行うかはパラメタで設定できること		
6		カスタマバーコード	●				
7		対象者番号		●	対象者やその他の送付物との結び付け用の番号 利用する番号は、宛名番号や被保険者番号等、結び付けが可能な番号とする		
8	2人目	郵便番号	●				
9		住所	●				
10		方書	●				
11		氏名	●		編集条件は1人目の記載と同じ		
12		対象者氏名		●	編集条件は1人目の記載と同じ		
13		カスタマバーコード	●				
14		対象者番号		●	編集条件は1人目の記載と同じ		
15	...						
16	1442人目	郵便番号	●				
17		住所	●				
18		方書	●				
19		氏名	●		編集条件は1人目の記載と同じ		
20		対象者氏名		●	編集条件は1人目の記載と同じ		
21		カスタマバーコード	●				
22		対象者番号		●	編集条件は1人目の記載と同じ		
23	1542人目以降は改ページする	●		※宛名シールのシートにより、出力できる対象者数 (枚数) に合わせて改ページすること			

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
業務	03. 保険料賦課	帳票名称			01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
1	タイトル1 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目(和暦表記) (印字例1：賦課決定通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 決定通知書 (印字例2：賦課変更決定通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 変更決定通知書
2	通知書番号	●			機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする
3	発行年月日	●			和暦表記
4	窓あき宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号
5	案内文1 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目(和暦表記) (印字例) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定(変更)しましたので通知します。
6	広域連合の名称	●			広域連合+首長名
7	広域連合の印	●			広域連合長の公印を出力する(年額通知部分のため)
8	被保険者番号	●			
9	被保険者氏名	●			
10	決定年月日	●			和暦表記 決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 決定年月日 (印字例：賦課変更決定通知) 決定年月日 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
11	保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
12	決定(変更)理由	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 決定理由 (印字例：賦課変更決定通知) 変更理由 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
13	案内文2 [広域連合][都道府県]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [広域連合]：システム印字項目 [都道府県]：システム印字項目 (印字例) ※保険料額は、[広域連合]内におけるの保険料額です。 このため[都道府県]内で転居された方は原則として複数の自治体にお支払いいただくことになります。
14	算定基礎タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 保険料算定の基礎(算定方法は次紙をご覧ください)
15	保険料算定の基礎 上段	区分	●		決定内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "決定" (印字例：賦課変更決定通知) "決定後" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
16		所得金額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得金額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
17		所得割率	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得割率 (印字例：賦課変更決定通知) 所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
18		所得割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得割額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	----	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
19	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割額 (印字例：賦課変更決定通知) 均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
20	算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 算出額 (印字例：賦課変更決定通知) 算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
21	限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 限度超過額 (印字例：賦課変更決定通知) 限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
22	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
23	均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減割合 (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
24	均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
25	年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 年保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
26	月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月数 (印字例：賦課変更決定通知) 月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
27	月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月割減額 (印字例：賦課変更決定通知) 月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
28	保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
29	保険料算定の基礎下段	●			決定内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) “決定前” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
30	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
31	所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
32	所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
33	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
34	算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
35	限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
36	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
37	均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
38	均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
39	年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
40	月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
41	月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
42	保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
43	案内文3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている かつ 被用者保険の被扶養者軽減の場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など(国保・国保組合は除く)の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、こちらに表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。
44	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 上段	区分	●		決定内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "決定" (印字例：賦課変更決定通知) "決定後" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
45		均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割額(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 均等割額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
46		均等割軽減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減割合(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減割合(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
47		均等割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減額(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
48		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 年保険料額(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 年保険料額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
49		月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月数(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 月数(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
50		月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月割減額(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 月割減額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
51		保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	区分	●	

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
52	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 均等割額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
53	均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減割合(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
54	均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
55	年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 年保険料額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
56	月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 月数(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
57	月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 月割減額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
58	タイトル2 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目(和暦表記) (印字例1 納入通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 (印字例2 変更通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収額変更・中止通知書
59	案内文4 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目(和暦表記) (印字例) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定(変更)しましたので通知します。
60	自治体の名称	●			自治体+首長名
61	自治体の印	●			登録されている自治体の長(もしくは職務代理人)の公印
62	徴収決定年月日	●			和暦表記
63	自治体別保険料額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 自自治体に納付する保険料額(A)+(B)
64	自治体別保険料額	●			
65	決定(変更)理由	●			
66	特別徴収期割額タイトル	●			※A3様式の場合のみ印字すること 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 特別徴収分の納付期割額(年金からのお支払い)
67	特徴合計タイトル	●			※A3様式の場合のみ印字すること 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) (A) 合計額
68	特別徴収期割額上段 ※【期別保険料額】 区分1-特別徴収列	●			区分1 決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “決定” (変更通知) “決定後”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
69	特徴1期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴1期保険料額 (変更通知) 特徴1期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
70	特徴2期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴2期保険料額 (変更通知) 特徴2期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
71	特徴3期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴3期保険料額 (変更通知) 特徴3期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
72	特徴4期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴4期保険料額 (変更通知) 特徴4期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
73	特徴5期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴5期保険料額 (変更通知) 特徴5期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
74	特徴6期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴6期保険料額 (変更通知) 特徴6期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
75	特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴保険料合計額 (変更通知) 特徴保険料合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
76	特別徴収期割額 下段 ※【期別保険料額】 区分2-特別徴収列	区分2	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) "決定前"
77	特徴1期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前特徴1期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
78	特徴2期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前特徴2期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
79	特徴3期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前特徴3期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
80	特徴4期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前特徴4期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
81	特徴5期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 決定前特徴5期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
82	特徴6期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 決定前特徴6期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
83	特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 決定前特徴保険料合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
84	案内文5	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆1期(4月)・2期(6月)・3期(8月)は、仮徴収としてお支払いいただく額を記載しています。
85	納付方法タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなた様の納付方法は下記のとおりです。
86	納付方法タイトル2	●			※A3様式の場合のみ印字すること 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 変 更 前
87	納付方法タイトル3	●			※A3様式の場合のみ印字すること 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 変 更 後
88	備考(固定文言1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 普通徴収分口座情報
89	納付方法決定前	納付方法	●		※A3様式の場合のみ印字すること 決定前期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：特徴のみ) "年金からの支払い" (印字例：普徴のみ口座なし) "納付書払い" (印字例：普徴のみ口座あり) "口座振替" (印字例：併徴かつ口座なし) "納付書払いと年金からの支払い" (印字例：併徴かつ口座あり) "口座振替と年金からの支払い"
90		特別徴収義務者	●		※A3様式の場合のみ印字すること 決定前期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴あり) 特別徴収義務者 (印字例：特徴なし) "＊"
91		特別徴収対象年金	●		※A3様式の場合のみ印字すること 決定前期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴あり) 特別徴収対象年金 (印字例：特徴なし) "＊"
92		固定文言2+編集1	●		※A3様式の場合のみ印字すること 文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人 等
93	納付方法決定後	納付方法	●		決定後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：特徴のみ) "年金からの支払い" (印字例：普徴のみ口座なし) "納付書払い" (印字例：普徴のみ口座あり) "口座振替" (印字例：併徴かつ口座なし) "納付書払いと年金からの支払い" (印字例：併徴かつ口座あり) "口座振替と年金からの支払い"
94		特別徴収義務者	●		決定後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴あり) 特別徴収義務者 (印字例：特徴なし) "＊"

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
95		特別徴収対象年金	●			決定後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴期あり) 特別徴収対象年金 (印字例：特徴期なし) “*”
96		固定文言 3 + 編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人 等
97		案内文 6 [発行年月日]	●			※A3様式の場合のみ印字すること(本様式の場合、説明文1への記載とする) 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [発行年月日]: システム印字項目(和暦表記) (印字例) ◆口座情報は、通知日([発行年月日])時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から20文字を記載しています。
98		普通徴収期割額タイトル	●			※A3様式の場合のみ印字すること 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 普通徴収分の納付期割額(年金からのお支払い)
99		普徴期 1 タイトル	●			システム設定により、普徴開始期から以下の例のようシステムにて編集した文言を普徴期 1 から印字すること (印字例) 1期、2期、3期、4期、5期、6期、7期、8期、9期、10期、11期、12期
100		普徴期 2 タイトル	●			
101		普徴期 3 タイトル	●			
102		普徴期 4 タイトル	●			
103		普徴期 5 タイトル	●			
104		普徴期 6 タイトル	●			
105		普徴期 7 タイトル	●			
106		普徴期 8 タイトル	●			
107		普徴期 9 タイトル	●			
108		普徴期 10 タイトル	●			
109		普徴期 11 タイトル	●			
110		普徴期 12 タイトル	●			
111		普徴期 13 タイトル	●			相当年度が同一で、相当年度の4月～3月の納期に該当しない対象(出納閉鎖期間・過年度の増額賦課により作成)について、以下の例のように文言を印字すること (例1) 隋時 1期 (例2) 過年 1期 ※3つ以上の期別が発生した場合は、通知を複数頁(裏面を含まず)とする
112		普徴期 14 タイトル	●			
113		普徴合計タイトル	●			※A3様式の場合のみ印字すること 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) (B) 合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
114	納期限	普徴期 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 あり) 普通徴収期 1 納期限 (普通徴収期 1 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
115		普徴期 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 2 あり) 普通徴収期 2 納期限 (普通徴収期 2 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
116		普徴期 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 3 あり) 普通徴収期 3 納期限 (普通徴収期 3 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	----	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
117	普徴期 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 4 あり) 普通徴収期 4 納期限 (普通徴収期 4 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
118	普徴期 5 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 5 あり) 普通徴収期 5 納期限 (普通徴収期 5 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
119	普徴期 6 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 6 あり) 普通徴収期 6 納期限 (普通徴収期 6 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
120	普徴期 7 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 7 あり) 普通徴収期 7 納期限 (普通徴収期 7 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
121	普徴期 8 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 8 あり) 普通徴収期 8 納期限 (普通徴収期 8 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
122	普徴期 9 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 9 あり) 普通徴収期 9 納期限 (普通徴収期 9 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
123	普徴期 1 0 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 0 あり) 普通徴収期 1 0 納期限 (普通徴収期 1 0 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
124	普徴期 1 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 1 あり) 普通徴収期 1 1 納期限 (普通徴収期 1 1 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
125	普徴期 1 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 2 あり) 普通徴収期 1 2 納期限 (普通徴収期 1 2 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
126	普徴期 1 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 3 あり) 普通徴収期 1 3 納期限 (普通徴収期 1 3 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
127	普徴期 1 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 4 あり) 普通徴収期 1 4 納期限 (普通徴収期 1 4 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 4 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
128	普通徴収期割額 上段 ※【期別保険料額】 区分 1 - 普通徴収列	●			※A3様式の場合のみ印字すること (A4様式の場合、特別徴収期割額 上段一区分 1 にて出力) 決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "決定" (変更通知) "決定後"
129	普徴期 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 1 保険料額 (変更通知) 普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
130	普徴期 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 2 保険料額 (変更通知) 普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
131	普徴期 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 3 保険料額 (変更通知) 普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
132	普徴期 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 4 保険料額 (変更通知) 普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
133	普徴期 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 5 保険料額 (変更通知) 普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
134	普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 6 保険料額 (変更通知) 普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
135	普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 7 保険料額 (変更通知) 普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
136	普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 8 保険料額 (変更通知) 普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
137	普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 9 保険料額 (変更通知) 普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
138	普徴期 10 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 10 保険料額 (変更通知) 普徴期 10 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 10 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
139	普徴期 11 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 11 保険料額 (変更通知) 普徴期 11 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 11 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
140	普徴期 12 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 12 保険料額 (変更通知) 普徴期 12 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 12 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
141	普徴期 13 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 13 保険料額 (変更通知) 普徴期 13 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 13 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
142	普徴期 14 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 14 保険料額 (変更通知) 普徴期 14 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 14 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
143	普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴保険料合計額 (変更通知) 普徴保険料合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
144	普通徴収期割額 下段 ※【期別保険料額】 区分2ー普通徴収列	●			※A3様式の場合のみ印字すること (A4様式の場合、特別徴収期割額上段ー区分2にて出力) 決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) “決定前”
145	普徴期1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
146	普徴期2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期2 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
147	普徴期3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期3 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
148	普徴期4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期4 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
149	普徴期5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期5 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
150	普徴期6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期6 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
151	普徴期7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期7 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
152	普徴期8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期8 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
153	普徴期9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期9 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
154	普徴期10 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴期10 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期10 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	----	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
155		普徴期1 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
156		普徴期1 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
157		普徴期1 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴通常期1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 3 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
158		普徴期1 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴通常期1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 4 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
159		普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴保険料合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
160		案内文7	●			※A3様式の場合のみ印字すること(本様式の場合、説明文1への記載とする) 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆納期限は各月末日です。(金融機関が休みのときは、翌営業日)。なお、口座振替は納期限が引落し日になります。
161		案内文8	●			※A3様式の場合のみ印字すること(本様式の場合、説明文1への記載とする) 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆区分に「過年」の記載がある場合は、お支払いいただく年度が過ぎて保険料が決定した分です。
162		ページ数	●			
163		総ページ数	●			
164		問い合わせ先	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
165		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
166		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
167		担当部署FAX番号	●	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
168		担当部署メール	●	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
169		案内文9	●			※A3様式の場合のみ印字すること(本様式の場合、説明文1への記載とする) (印字例) 左記の問い合わせ先は保険料額についての問い合わせ先となります。保険料のお支払い方法、還付、納付相談については、裏面に記載の問い合わせ先にご連絡ください。 その他の各種お手続きについても裏面に記載の各問い合わせ先へご連絡ください。
170		説明文1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、通知書の最終頁として以下の例のように設定された文言を印字すること なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとする (印字例) * 後期高齢者医療保険料は、高齢者の医療の確保に関する法律及び4XX後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の規定に基づき、2X 2年 2月 2日現在の後期高齢者医療制度の被保険者に対して賦課されたものです。 * 保険料の算出方法は以下のとおりです。 所得割額 = 賦課のもととなる所得金額 (※1) × 所得割率 (50000 / 100) } 確定年保険料 均等割額 = 70000円 } [2万円を限度とする] なお、2X 21年 4月 1日以後に保険料の納付義務が発生又は消滅したときは月割りにて算定します。 ※1 賦課のもととなる所得金額 = 2X 2年中の所得 - 3万円 * 所得が低い方に対する軽減 世帯内の後期高齢者医療制度の被保険者全員と世帯主の総所得金額等の合計額が以下のいずれかに該当する場合、均等割額から次の額が軽減されます。 3万円以下 700000 円 内、世帯内の被保険者全員が年収入 8万円以下 (その他各種所得がない) ※ 700000 円 3万円 + { 2 X 21年 4月 1日以後に保険料の納付義務が発生又は消滅したときは月割りにて算定します。 } 700000 円 3万円 + { 2万円 × 被保険者数 } 以下 700000 円 【※】については、平成27年度以降で適用されます。 3 X 21年 4月 1日以後に保険料の納付義務が発生又は消滅したときは月割りにて算定します。 3 X 21年 4月 1日以後に保険料の納付義務が発生又は消滅したときは月割りにて算定します。 * 後期高齢者医療制度に加入する前日において被保険者の被保険者であった方に対する軽減 該当する場合、所得割が課税されず、均等割額から次の額が軽減されます。 700000 円 ただし、所得が低い方に対する軽減にも該当する方については、いずれか大きい方の額が軽減されます。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式①】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
171	説明文 2	●			<p>※A3様式の場合のみ印字すること(本様式の場合、説明文1への記載とする)</p> <p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、通知書の最終頁として設定された文言を印字すること (想定される印字内容)</p> <p>普通徴収(納付書払い)の場合の納入場所、問い合わせ先、不服申立および取消訴訟等</p>

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
	通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	タイトル1 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目 (和暦表記) (印字例1：賦課決定通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 決定通知書 (印字例2：賦課変更決定通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 変更決定通知書	
2	通知書番号		●			機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする	
3	発行年月日		●			和暦表記	
4	窓あき宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号	
5	案内文1 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目 (和暦表記) (印字例) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定(変更)しましたので通知します。	
6	広域連合の名称		●			広域連合+首長名	
7	広域連合の印		●			広域連合長の公印を出力する(年額通知部分のため)	
8	被保険者番号		●				
9	被保険者氏名		●				
10	決定年月日		●			和暦表記 決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 決定年月日 (印字例：賦課変更決定通知) 決定年月日 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”	
11	保険料額		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”	
12	決定(変更)理由		●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 決定理由 (印字例：賦課変更決定通知) 変更理由 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”	
13	案内文2 [広域連合][都道府県]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [広域連合]：システム印字項目 [都道府県]：システム印字項目 (印字例) ※保険料額は、[広域連合]内におけるの保険料額です。 このため[都道府県]内で転居された方は原則として複数の自治体にお支払いいただくことになります。	
14	算定基礎タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 保険料算定の基礎 (算定方法は次紙をご覧ください)	
15	保険料算定の基礎 上段	区分	●			決定内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “決定” (印字例：賦課変更決定通知) “決定後” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”	
16		所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得金額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”	
17		所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得割率 (印字例：賦課変更決定通知) 所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”	
18		所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得割額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”	

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
19	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割額 (印字例：賦課変更決定通知) 均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
20	算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 算出額 (印字例：賦課変更決定通知) 算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
21	限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 限度超過額 (印字例：賦課変更決定通知) 限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
22	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
23	均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減割合 (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
24	均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
25	年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 年保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
26	月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月数 (印字例：賦課変更決定通知) 月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
27	月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月割減額 (印字例：賦課変更決定通知) 月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
28	保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
29	保険料算定の基礎下段	●			決定内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) “決定前” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
30	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
31	所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
32	所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
33	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
34	算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
35	限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
36	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前所得割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
37	均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
38	均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
39	年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
40	月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
41	月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
42	保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 決定前保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
43	案内文3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている かつ 被用者保険の被扶養者軽減の場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など(国保・国保組合は除く)の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、こちらに表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。
44	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 上段	区分	●		決定内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "決定" (印字例：賦課変更決定通知) "決定後" (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
45		均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割額(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 均等割額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
46		均等割軽減割合	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減割合(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減割合(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
47		均等割軽減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 均等割軽減額(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
48		年保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 年保険料額(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 年保険料額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
49		月数	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月数(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 月数(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
50		月割減額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 月割減額(被扶養者) (印字例：賦課変更決定通知) 月割減額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
51		保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	区分	●	

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
52	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 均等割額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
53	均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減割合(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
54	均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 均等割軽減額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
55	年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 年保険料額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
56	月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 月数(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
57	月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 月割減額(被扶養者) (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"
58	タイトル2[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目(和暦表記) (印字例1 納入通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 (印字例2 変更通知) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収額変更・中止通知書
59	案内文4[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目(和暦表記) (印字例) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定(変更)しましたので通知します。
60	自治体の名称	●			自治体+首長名
61	自治体の印	●			登録されている自治体の長(もしくは職務代理人)の公印
62	徴収決定年月日	●			和暦表記
63	自治体別保険料額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 自治体に納付する保険料額(A)+(B)
64	自治体別保険料額	●			
65	決定(変更)理由	●			
66	特別徴収期割額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 特別徴収分の納付期割額(年金からのお支払い)
67	特徴合計タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) (A) 合計額
68	特別徴収期割額上段	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "決定" (変更通知) "決定後"

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	----	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
69	特徴1期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴1期保険料額 (変更通知) 特徴1期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
70	特徴2期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴2期保険料額 (変更通知) 特徴2期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
71	特徴3期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴3期保険料額 (変更通知) 特徴3期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
72	特徴4期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴4期保険料額 (変更通知) 特徴4期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
73	特徴5期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴5期保険料額 (変更通知) 特徴5期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
74	特徴6期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴6期保険料額 (変更通知) 特徴6期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
75	特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴保険料合計額 (変更通知) 特徴保険料合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
76	特別徴収期割額 下段	区分	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) "決定前"
77	特徴1期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前特徴1期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
78	特徴2期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前特徴2期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
79	特徴3期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前特徴3期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
80	特徴4期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前特徴4期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
81	特徴5期保険料額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前特徴5期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
82		特徴6期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 決定前特徴6期保険料額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
83		特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "＊" (変更通知) 決定前特徴保険料合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"＊"を印字する。
84	案内文5		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆1期(4月)・2期(6月)・3期(8月)は、仮徴収としてお支払いいただく額を記載しています。
85	納付方法タイトル1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなた様の納付方法は下記のとおりです。
86	納付方法タイトル2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 変 更 前
87	納付方法タイトル3		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 変 更 後
88	備考(固定文言1)		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 普通徴収分口座情報
89	納付方法 決定前	納付方法	●			決定前期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：特徴のみ) "年金からの支払い" (印字例：普徴のみ口座なし) "納付書払い" (印字例：普徴のみ口座あり) "口座振替" (印字例：併徴かつ口座なし) "納付書払いと年金からの支払い" (印字例：併徴かつ口座あり) "口座振替と年金からの支払い"
90		特別徴収義務者	●			決定前期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴あり) 特別徴収義務者 (印字例：特徴なし) "＊"
91		特別徴収対象年金	●			決定前期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴あり) 特別徴収対象年金 (印字例：特徴なし) "＊"
92		固定文言2+編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人 等
93	納付方法 決定後	納付方法	●			決定後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：特徴のみ) "年金からの支払い" (印字例：普徴のみ口座なし) "納付書払い" (印字例：普徴のみ口座あり) "口座振替" (印字例：併徴かつ口座なし) "納付書払いと年金からの支払い" (印字例：併徴かつ口座あり) "口座振替と年金からの支払い"
94		特別徴収義務者	●			決定後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴あり) 特別徴収義務者 (印字例：特徴なし) "＊"
95		特別徴収対象年金	●			決定後期割内容によって以下の内容を印字すること (印字例：特徴あり) 特別徴収対象年金 (印字例：特徴なし) "＊"
96		固定文言3+編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人 等

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	----	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
97	案内文6[発行年月日]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [発行年月日]: システム印字項目(和暦表記) (印字例) ◆口座情報は、通知日([発行年月日])時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から20文字を記載しています。
98	普通徴収期割額タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 普通徴収分の納付期割額(年金からのお支払い)
99	普徴期1タイトル		●			システム設定により、普徴開始期から以下の例のようシステムにて編集した文言を普徴期1から印字すること
100	普徴期2タイトル		●			(印字例: 7月開始で通常期が8期の場合) 7月(1期)、8月(2期)、9月(3期)、10月(4期)、11月(5期)、12月(6期)、1月(7期)、2月(8期)
101	普徴期3タイトル		●			(印字例: 7月開始で通常期が8期かつ途中資格取得等により10月からの期割となった場合) 10月(4期)、11月(5期)、12月(6期)、1月(7期)、2月(8期)
102	普徴期4タイトル		●			随時期が発生した場合は、通常期のあとに以下の例のようシステムにて編集した文言を通常期の後ろから印字する。
103	普徴期5タイトル		●			(印字例: 7月開始で通常期が8期で、現年随時期が発生した場合) 7月(1期)、8月(2期)、9月(3期)、10月(4期)、11月(5期)、12月(6期)、1月(7期)、2月(8期)、3月(随時)
104	普徴期6タイトル		●			随時期を含め15以上の期別が発生した場合は、通知を複数頁(裏面を含まず)とし、システムにて編集した文言を以下の例のように印字する。
105	普徴期7タイトル		●			(印字例: 4月開始で通常期が12期で、過年随時期が3期分、過々年随時期が2期分発生した場合) <1頁目> 4月(1期)、5月(2期)、6月(3期)、7月(4期)、8月(5期)、9月(6期)、10月(7期)、11月(8期)、12月(9期)、1月(10期)、2月(11期)、3月(12期)、4月(過年)、6月(過年)
106	普徴期8タイトル		●			<2頁目> 10月(過年)、10月(過々年)、1月(過々年)
107	普徴期9タイトル		●			
108	普徴期10タイトル		●			
109	普徴期11タイトル		●			
110	普徴期12タイトル		●			
111	普徴期13タイトル		●			
112	普徴期14タイトル		●			
113	普徴合計タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) (B) 合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
114	納期限	普徴期1納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期1あり) 普通徴収期1納期限 (普通徴収期1なし) 印字なし(SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期1タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
115		普徴期2納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期2あり) 普通徴収期2納期限 (普通徴収期2なし) 印字なし(SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期2タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
116		普徴期3納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期3あり) 普通徴収期3納期限 (普通徴収期3なし) 印字なし(SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期3タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
117		普徴期4納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期4あり) 普通徴収期4納期限 (普通徴収期4なし) 印字なし(SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期4タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
118		普徴期5納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期5あり) 普通徴収期5納期限 (普通徴収期5なし) 印字なし(SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期5タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
119	普徴期 6 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 6 あり) 普通徴収期 6 納期限 (普通徴収期 6 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
120	普徴期 7 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 7 あり) 普通徴収期 7 納期限 (普通徴収期 7 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
121	普徴期 8 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 8 あり) 普通徴収期 8 納期限 (普通徴収期 8 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
122	普徴期 9 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 9 あり) 普通徴収期 9 納期限 (普通徴収期 9 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
123	普徴期 1 0 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 0 あり) 普通徴収期 1 0 納期限 (普通徴収期 1 0 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
124	普徴期 1 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 1 あり) 普通徴収期 1 1 納期限 (普通徴収期 1 1 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
125	普徴期 1 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 2 あり) 普通徴収期 1 2 納期限 (普通徴収期 1 2 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
126	普徴期 1 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 3 あり) 普通徴収期 1 3 納期限 (普通徴収期 1 3 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
127	普徴期 1 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (普通徴収期 1 4 あり) 普通徴収期 1 4 納期限 (普通徴収期 1 4 なし) 印字なし (SPACE) ※出力対象の納期限は普徴期 1 4 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
128	普通徴収期割額 上段	区分	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "決定" (変更通知) "決定後"
129		普徴期 1 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 1 保険料額 (変更通知) 普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
130		普徴期 2 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 2 保険料額 (変更通知) 普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
131		普徴期 3 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 3 保険料額 (変更通知) 普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
		普徴期 4 保険料額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期 4 保険料額 (変更通知) 普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	----	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
132	普徴期4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期4 保険料額 (変更通知) 普徴期4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期4 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
133	普徴期5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期5 保険料額 (変更通知) 普徴期5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期5 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
134	普徴期6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期6 保険料額 (変更通知) 普徴期6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期6 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
135	普徴期7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期7 保険料額 (変更通知) 普徴期7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期7 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
136	普徴期8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期8 保険料額 (変更通知) 普徴期8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期8 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
137	普徴期9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期9 保険料額 (変更通知) 普徴期9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期9 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
138	普徴期10 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期10 保険料額 (変更通知) 普徴期10 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期10 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
139	普徴期11 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期11 保険料額 (変更通知) 普徴期11 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期11 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
140	普徴期12 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期12 保険料額 (変更通知) 普徴期12 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期12 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
141	普徴期13 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期13 保険料額 (変更通知) 普徴期13 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期13 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
142	普徴期14 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴期14 保険料額 (変更通知) 普徴期14 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期14 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
143	普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 普徴保険料合計額 (変更通知) 普徴保険料合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は"*"を印字する。
144	普通徴収期割額 下段	区分	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) "決定前"

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	--

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
145	普徴期 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
146	普徴期 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
147	普徴期 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
148	普徴期 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
149	普徴期 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
150	普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
151	普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
152	普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
153	普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
154	普徴期 10 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 10 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 10 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
155	普徴期 11 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 11 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 11 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
156	普徴期 12 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴期 12 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 12 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
157	普徴期 13 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) "*" (変更通知) 決定前普徴通常期 13 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 13 タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定(変更)通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額(仮徴収)変更通知書、特別徴収中止通知書【様式②】
----	-----------	------	----	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
158	普徴期14保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴通常期14保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期14タイトルの印字対象と同じ期別の決定前保険料額を印字する。
159	普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) “*” (変更通知) 決定前普徴保険料合計額 ※裏面を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する。
160	案内文7	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆納期限は各月末日です。(金融機関が休みのときは、翌営業日)。なお、口座振替は納期限が引落日になります。
161	案内文8	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆区分に「過年」の記載がある場合は、お支払いいただく年度が過ぎて保険料が決定した分です。
162	ページ数	●			
163	総ページ数	●			
164	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
165		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
166		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
167		担当部署FAX番号		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
168		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
169	案内文9	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 左記の問い合わせ先は保険料額についての問い合わせ先となります。保険料のお支払い方法、還付、納付相談については、裏面に記載の問い合わせ先にご連絡ください。 その他の各種お手続きについても裏面に記載の各問い合わせ先へご連絡ください。
170	説明文1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、通知書の最終頁として以下の例のように設定された文言を印字すること なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとする (印字例) * 後期高齢者医療保険料は、高齢者の医療の確保に関する法律及び4XX(後期高齢者医療広域連合)後期高齢者医療に関する条例の規定に基づき、2X2年2月2日現在の後期高齢者医療制度の被保険者に対して賦課されたものです。 * 保険料の算出方法は以下のとおりです。 所得割額=賦課のもととなる所得金額(※1)×所得割率(5XXXX/100) } 確定年保険料 均等割額=7XXXX円 } [2万円を限度とする] なお、2X21年4月1日以後に保険料の納付義務が発生又は消滅したときは月割りにて算定します。 ※1 賦課のもととなる所得金額=2X2年中の所得-3万円 * 所得が低い方に対する軽減 世帯内の後期高齢者医療制度の被保険者全員と世帯主の総所得金額等の合計額が以下のいずれかに該当する場合、均等割額から次の額が軽減されます。 3万円以下 . . . 7XXXX円 内、世帯内の被保険者全員が年金収入8万円以下(その他各種所得がない)【※】 . . . 7XXXX円 3万円+(2XXXX×被保険者数)以下 . . . 7XXXX円 3万円+(2万円×被保険者数)以下 . . . 7XXXX円 【※】については、平成2年度以降で適用されます。 38XXXX×被保険者数以下 . . . 7XXXX円 * 後期高齢者医療制度に加入する前日において被用者保険の被扶養者であった方に対する軽減 該当する場合、所得割が課されず、均等割額から次の額が軽減されます。 . . . 7XXXX円 ただし、所得が低い方に対する軽減にも該当する方については、いずれか大きい方の額が軽減されます。
171	説明文2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、通知書の最終頁として設定された文言を印字すること ※A4様式の場合は出力しない (想定される印字内容) 普通徴収(納付書払い)の場合の納入場所、問い合わせ先、不服申立および取消訴訟等

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		02 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	通知書番号	●			機能・帳票要件における「文書番号」の扱いと同様とする		
2	発行年月日	●			和暦表記		
3	窓あき宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号		
4	広域連合の名称	●			広域連合+首長名		
5	広域連合の印	●			広域連合長の公印を出力する		
6	タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書		
7	案内文1 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]: システム印字項目 (和暦表記) (印字例) ※[相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定しましたので通知します。		
8	被保険者氏名	●					
9	被保険者番号	●					
10	決定年月日	●			和暦表記		
11	決定理由	●					
12	暫定保険料額	●					
13	算定基礎タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 保険料算定の基礎 (算定方法は次紙をご覧ください)		
14	前年度保険料額	●					
15	暫定期数	●					
16	年間期数	●					
17	暫定保険料額	●					
18	案内文2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとする (印字例) * 後期高齢者医療保険料は、高齢者の医療の確保に関する法律及び4 X X X 後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の規定によって、2 X 2 X 年2 X 月 2 X 日現在の後期高齢者医療の被保険者に対して賦課されたものです。		
19	タイトル2 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]: システム印字項目 (和暦表記) (印字例) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書		
20	自治体の名称	●			自治体+首長名		
21	自治体の印	●			登録されている自治体の長 (もしくは職務代理人) の公印		
22	案内文3 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]: システム印字項目 (和暦表記) (印字例) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。		
23	決定理由	●					
24	徴収決定年月日	●			和暦表記		
25	自治体別保険料額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 自自治体に納付する保険料額		
26	自治体別保険料額	●					
27	納付方法タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなた様の納付方法は下記のとおりです。		
28	納付方法	●			決定後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例: 口座なし) "納付書払い" (印字例: 口座あり) "口座振替"		
29	備考 (固定文言1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 普通徴収分口座情報		
30	固定文言2 + 編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人 等		
31	期別保険料額	普徴期1タイトル	●		システム設定により、普徴開始期から以下の例のようなシステムにて編集した文言を普徴期1から印字すること (印字例) 1期、2期、3期		
32		普徴期2タイトル	●				
33		普徴期3タイトル	●				
34	普徴期1保険料額	●			普徴期1保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。		
35	普徴期2保険料額	●			普徴期2保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期2タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。		

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
36		普徴期 3 保険料額	●			普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する。
37		普徴期 1 納期限	●			普通徴収期 1 納期限 ※出力対象の納期限は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
38		普徴期 2 納期限	●			普通徴収期 2 納期限 ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
39		普徴期 3 納期限	●			普通徴収期 3 納期限 ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する。
40		合計額	●			普徴保険料合計額
41	案内文 4		●			<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例)</p> <p>◆本年度の確定後の保険料は、7月中旬にあらためて通知します。 ◆口座情報は、通知日時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から20文字を記載しています。 ◆納期限は各月末日です。(金融機関が休みのときは、翌営業日)。なお、口座振替は納期限が引落し日になります。 ◆下記問い合わせ先は保険料額についての問い合わせ先となります。保険料のお支払い方法、還付、納付相談については、裏面に記載の問い合わせ先にご連絡ください。 その他の各種お手続きについても裏面に記載の各問い合わせ先へご連絡ください。</p>
42	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
43		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
44		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
45		担当部署FAX番号		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
46		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
47	説明文 1		●			<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること</p> <p>(想定される印字内容) 普通徴収(納付書払い)の場合の納入場所、問い合わせ先、不服申立および取消訴訟 等</p>

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料口座振替開始（変更）のお知らせ		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など			
		必須	オプション	不可				
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする			
2	発行年月日	●			和暦表記			
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号			
4	自治体の名称	●			自治体+首長名			
5	自治体の印	●						
6	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 口座振替開始（変更）のお知らせ			
7	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 口座振替にご加入いただきありがとうございます。口座振替開始（変更）の手続が完了しましたので、下記のとおり、あなたの後期高齢者医療保険料について口座振替を行います。内容につきまして、ご確認ください。 万が一、指定口座の情報が相違あるいはご不審な点がございましたら、●●課へご連絡ください。			
8	被保険者氏名番号	●						
9	被保険者番号英名	●						
10	口座振替開始年月	●			和暦表記 印字する場合は以下の形式で印字すること (印字例) 令和●●年●●月分から			
11	振替開始期別		●		年度+期別 (印字例) (令和●●年●●期)			
12	補足説明文1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 以降、納期限が到来する期別について口座振替を開始いたします ※納期限については、お手元の納入通知書をご参照ください			
13	振替口座	金融機関名	●					
14		金融機関支店名	●					
15		口座種目	●					
16		口座番号	●		機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする			
17		口座名義人	●		平角カナで印字すること			
17	口座振替日	●						
18	補足説明文2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) ・後期高齢者医療保険料の口座振替日は毎月末日です。ただし、振替日が金融機関等の休業日（土・日・祝日・年末年始）に当たる場合は、翌営業日になります。			
19	問合せ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名			
20		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所			
21		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定			
22		担当部署FAX番号		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
23		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		04 後期高齢者医療保険料納付誓約書	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	発行年月日	●			和暦表記		
2	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号		
3	自治体の名称	●			自治体一言英名		
4	自治体の印	●					
3	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 後期高齢者医療保険料 納付誓約書		
4	自治体の名称	●			バリエーションにより初期設定が行えること		
5	固定文言 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 私は、下記の事由により現在のところ、保険料を完納することができません。つきましては保険料を、下記のとおり納入することを誓約いたします。なお、誓約違反のときは、地方税法の定めるところにより私の所有財産の差押(公売)処分をうけても異議ありません。		
6	被保険者氏名番号	●					
7	被保険者番号氏名	●					
8	固定文言 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 1 事業不振 2 病気 3 失職 4 その他		
9	備考 1 (固定文言 3)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 来庁者		
10	固定文言 4	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 1 世帯主 2 主の妻(夫) 3 家族 4 その他		
11	納付誓約日	●			和暦表記 自署の場合は印字しない		
12	納付誓約対象	●			和暦表記		
13	※納付誓約対象の期別に応じて、1行目～N行目まで印字	●			和暦表記		
14	相当年度	●					
15	賦課年度	●					
16	賦課管理番号	●					
17	期別番号	●					
18	誓約期限日	●			和暦表記		
19	徴収額	●					
20	備考 2 (固定文言 5)	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等		
21	固定文言 6 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等		
22	徴収合計額	●					
23	ページ数	●					
24	総ページ数	●					
22	問合せ先	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名 + 部署名		
23	担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号 + 全角スペース + 住所		
24	担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定		
25	担当部署FAX番号		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
26	担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		05 納付書	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	納入済通知書	賦課年度	●		和暦表記		
2		納付合計金額	●				
3		取納機関番号		●	出力有無を選択可能とすること		
4		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること		
5		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること		
6		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること		
7		通知書番号	●				
8		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②上記以外の場合、期別 + “期”		
9		取扱期限	●		和暦表記		
10		OCR	●				
11		バーコード	●				
12		QRコード		●	JPQR統一規格の仕様に準拠したQRコードを出力すること 出力有無を選択可能とすること		
13		納付者氏名	●				
14	原符兼払込金受領証	納付合計金額	●				
15		取扱期限	●		和暦表記		
16		納付者氏名	●				
17		納付番号		●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること		
18		確認番号		●	出力有無を選択可能とすること		
19		納付区分		●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること		
20		年度	●		賦課年度、和暦表記		
21		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②上記以外の場合、期別 + “期”		
22		通知書番号	●				
23		領収証書	賦課年度	●		和暦表記	
24	宛名		●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号		
25	発行年月日		●		和暦表記		
26	自治体の名称		●		自治体 + 首長名		
27	自治体の印		●				
28	納付者氏名		●				
29	年度		●		賦課年度、和暦表記		
30	通知書番号		●				
31	期		●		①全期前納の場合、“全期” ②上記以外の場合、期別 + “期”		
32	納付番号			●	納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること		
33	確認番号			●	出力有無を選択可能とすること		
34	納付区分			●	納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること		
35	納付金額	●		納付金額（末尾に“円”を付与すること）			
36	延滞金	●		延滞金（末尾に“円”を付与すること）			
37	備考1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等			
38	編集1	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等			
39	備考2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等			
40	編集2	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等			
41	備考3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納期限 等			
42	編集3	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納期限 等			
43	備考4	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等			
44	編集4	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等			

業務		04. 保険料収納		帳票名称		01 後期高齢者医療保険料口座振替不能通知書	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	文書番号	●	●		機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする		
2	発行年月日	●			和暦表記		
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号		
4	自治体の名称	●			自治体+首長名		
5	自治体の印	●					
6	相当年度	●			和暦表記		
6	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 口座振替不能通知書		
7	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 口座振替により支払っていただくことになっていましたあなたの後期高齢者医療保険料は、下記の理由により振替できませんでした。		
8	通知書文言	●			口座不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 (例1) 同封の納付書で、取扱期限までに必ず納めてください。 (例2) 以下に記した日付にて、再度口座より振替を行います。		
9	振込金融機関名	●					
10	振込金融機関+支店名	●					
11	預金種目	●					
12	口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする		
13	口座名義人	●			半角カナで印字すること		
14	被保険者氏名	●					
15	被保険者番号	●					
16	振替不能の保険料額	●			和暦表記		
17	相当年度	●					
18	期別番号	●					
18	賦課年度	●	●		和暦表記		
19	賦課管理番号	●					
19	金額	●					
20	通知書番号	●	●		振替不能期別に対する納入通知書の通知書番号		
21	納期限	●	●		振替不能の当初の納期限		
20	振替できなかった理由	●					
21	備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、通知書番号、納期限		
22	固定文言2 + 編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、通知書番号、納期限 等		
23	督促及び延滞金	●					
23	補足説明タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 2 督促及び延滞金		
24	補足説明文[延滞金加算率]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [延滞金加算率]：システム印字項目 (印字例) 保険料をそのまま納付されないと、督促状が發送されるほか延滞金が徴収されます。なお、延滞金は、納期限の翌日から納付の日までの期間の日数に応じ、保険料額に年[延滞金加算率]%の割合を乗じて計算した額です。この場合における年当りの割合は、閏年を含む期間についても365日当りの割合です。		
25	取扱期限名称	●			口座不能理由によって以下の例のように文言を印字する。 (例1) 取扱期限 (例2) 再振替予定日		
26	取扱期限	●			口座不能理由によって以下の例のように日付を印字する。 (例1) 取扱期限（和暦表記） (例2) 再振替予定日（和暦表記）		
27	問い合わせ先						
28	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名		
28	担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所		
29	担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定		
30	担当部署FAX番号		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
31	担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		

業務		04. 保険料収納		帳票名称		02 後期高齢者医療保険料還付(充当) 通知書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など			
		必須	オプション	不可				
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする			
2	発行年月日	●			和暦表記			
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号			
4	自治体の名称	●			自治体+首長名			
5	自治体の印	●						
6	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付(充当) 通知書			
7	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) あなたの納めた保険料が納めすぎになりましたので、次のとおり充当した後にお返しします。			
8	還付管理番号	●			「04. 後期高齢者医療保険料還付請求書」と紐づく管理番号 還付請求書を発行していない場合は印字しない			
9	被保険者氏名	●						
10	被保険者番号	●						
10	還付する金額	歳入/歳出		●	過誤納金を算出する賦課年度における歳入/歳出の区分 行を出力形式 (例1) 歳入、(例2) 歳出			
11		過誤納金算出年度	●		賦課年度、和暦表記			
12		相当年度	●	●		和暦表記		
12		通知書番号		●		還付(充当)の対象となる過誤納金が発生した納入通知書の通知書番号		
13		納め過ぎた金額(過誤納金額)	●			過誤納金額合計(特別徴収にかかる死亡により生じた過誤納金額のうち、年金保険者への返納額を除く)		
14		充当金額	●					
15		特別徴収にかかる死亡により生じた過誤納金額のうち、年金保険者に返す額	●					
15		還付加算金	●					
16		過誤納金総額	●					
16		お返しする金額(還付金額)	●					
17	納め過ぎた金額(過誤納金)の内訳 ※対象期別の数に応じて、1行目~N行目まで印字	賦課管理番号		●				
17		期別納期	●					
18		特別徴収	●			特別徴収保険料額		
19		普通徴収	●			普通徴収保険料額		
20		延滞金	●					
21		督促料	●					
21		納めた金額	●					
22		過誤納金額	●					
23		領収年月日	●					
24		発生理由	●					
25	備考1(固定文言1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料			
26	固定文言2+編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料 等			
27	充当金の内訳 ※対象期別の数に応じて、1行目~N行目まで印字	相当年度	●		和暦表記			
28		賦課年度	●	●		和暦表記		
29		賦課管理番号	●					
29		期別納期	●					
30		保険料未済額	●					
31		保険料充当額	●					
32		延滞金未済額	●					
33		延滞金充当額	●					
34		督促料未済額	●					
34		督促料充当額	●					
34	備考2(固定文言3)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額			
35	固定文言4+編集2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額 等			

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
36	還付金の受け取り方法	金融機関名	●		
37		支店名	●		
38		振込予定日	●		
38		備考3	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 振込予定日
39	編集3	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 振込予定日	
40	種目	●			
41	口座番号	●		機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする	
42	口座名義人	●		平角カナで印字すること	
42	還付金振込口座	●			
43	補足説明文1	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) お返しする保険料・延滞金を下記の金融機関に振込みます。	
44	補足説明文2	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) なお、振込先が空欄の場合は●●誤で還付金をお返しすることになります。 持参するもの□1) この通知書□2) 被保険者証	
45	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
46		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
47		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
48		担当部署FAX番号		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
49		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
50	不服の申立	教示文[担当部署名][担当自治体名]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（市区町村名+部署名）） [担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定） (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分 の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するものを除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
50		担当部署名	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定 市区町村名+部署名
51		担当自治体名	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
51		担当部署郵便番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
52		担当部署住所	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
53		担当部署電話番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定
54	ページ数		●		
55	総ページ数		●		
56	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳、充当金の内訳が印字可能件数を超えた場合は改ページする		●		1ページ目と同様の印字編集条件で出力する

業務		04. 保険料収納		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料充当通知書	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする		
2	発行年月日	●			和暦表記		
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号		
4	自治体の名称	●			自治体+首長名		
5	自治体の印	●					
6	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料充当通知書		
7	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) あなたの納めた保険料が納めすぎになりましたので、次のおり充当(割り当て)させていただきます。		
8	被保険者氏名	●					
9	被保険者番号	●					
10	充当金額 納め過ぎた金額(過誤納金)の内訳 ※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	繰入/繰出		●	過誤納金を算出する賦課年度における繰入/繰出の区分 打ち出し形式 (例1) 繰入、(例2) 繰出		
11		過誤納金算出年度		●	賦課年度、和暦表記		
12		相当年度		●	和暦表記		
13		賦課管理番号		●	該当の対象となる過誤納金が発生した納入通知書の通知書番号		
14		納め過ぎた金額(過誤納金)		●			
15		還付加算金		●			
16		過誤納金総額		●			
17		充当金額		●			
18		賦課管理番号		●			
19		期別納期		●			
20		特別徴収		●	特別徴収保険料額		
21		普通徴収		●	普通徴収保険料額		
22		延滞金		●			
23		納めた金額		●			
24	過誤納金額		●				
25	領収年月日		●				
26	発生理由		●				
27	備考1(固定文言1)		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料		
28	固定文言2+編集1		●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料 等		
29	充当金の内訳 ※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	相当年度		●	和暦表記		
30		賦課年度		●	和暦表記		
31		賦課管理番号		●			
32		期別納期		●			
33		保険料未済額		●			
34		保険料充当額		●			
35		延滞金未済額		●			
36		延滞金充当額		●			
37		督促料未済額		●			
38		督促料充当額		●			
39	備考2(固定文言3)		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額		
40	固定文言4+編集2		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料未済額、督促料充当額 等		
41	補足説明タイトル		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 次回の保険料の支払いについて		
42	補足説明文		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 過誤納金は、これからお支払いいただく保険料や未納になっている保険料に充当させていただきます。その後、足りない金額については、未到来納期分から、請求させていただきます。		
43	問い合わせ先	担当部署名		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名		
44		担当部署住所		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所		
45		担当部署電話番号		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定		
46		担当部署FAX番号		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
47		担当部署メール		●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
41	不服の申立	教示文[担当部署名][担当自治体名]	●			<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること</p> <p>[担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（市区町村名+部署名））</p> <p>[担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定）（印字例）</p> <p>不服の申立</p> <p>この通知書について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[担当自治体名]を被告として提起することができます。</p> <p>なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するものを除く。）でなければ提起することができません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
45		担当部署名	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定 市区町村名+部署名
46		担当自治体名	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
42		担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
43		担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
44		担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
45	ページ数		●			
46	総ページ数		●			
47	納め過ぎた金額（過誤納金）の内訳、充当金の内訳が印字可能件数を超えた場合は改ページする		●			1ページ目と同様の印字編集条件で出力する

業務		04. 保険料収納		帳票名称		04 後期高齢者医療保険料還付請求書	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付請求書		
2	自治体の名称	●					
3	案内文1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 下記の被保険者に係る後期高齢者医療保険料過誤納金の還付について請求します。		
4	被保険者氏名番号	●					
5	被保険者番号氏名	●					
6	還付管理番号	●			「02. 後期高齢者医療保険料還付(充当) 通知書」と紐づく管理番号		
7	住所	●			住所+全角スペース+方書		
8	還付額	●			保険料の還付額		
9	還付加算金額	●					
8	備考1 (固定文言1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、請求額合計		
9	編集1 請求額合計	●			(還付加算金額ありの場合) 還付額+還付加算金額 (還付加算金額なしの場合) 還付額		
10	備考2 (固定文言2)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 還付額、還付加算金額		
11	固定文言3 + 編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 還付額、還付加算金額 等		
12	案内文2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) なお、還付については、下記金融機関口座へ振り込むよう依頼します。		
13	固定文言4	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ・理由 ※請求者が被保険者本人ではない場合の理由		
14	固定文言5	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記請求者に後期高齢者医療保険料の還付金の請求及び受領を委任します。 ・被保険者氏名 ※(請求者) 欄には、窓口に来た方の氏名や連絡先等を記入してください。		

業務		04. 保険料収納		帳票名称		05 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	発行年月日	●					和暦表記
2	宛名	●					共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号
3	自活体の名称	●					自活体一貫長字
4	自活体の印	●					
3	タイトル	●					文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料還付・充当希望確認票
4	案内文	●					文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 納付（納入）された後期高齢者医療保険料が納めすぎになりましたので、次のとおりお返しいたします。なお、当期までの未済分、および、納期未到来分への充当も行なえません。別紙に添えました『後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ』をご覧ください。
5	被保険者氏名	●					
6	被保険者番号	●					
7	還付する金額	●					和暦表記
8	過誤納金算出年度	●	●				和暦表記
9	相当年度	●	●				納付（納入）の対象となる過誤納金が発生した納入通知書の通知書番号
10	納め過ぎた金額（過誤納金額）の内訳	●					
11	※対象期別の数に応じて、1行目～N行目まで印字	●					
12	特別徴収	●					特別徴収保険料額
13	普通徴収	●					普通徴収保険料額
14	延滞金	●					
15	賦課料	●					
16	納めた金額	●					
17	過誤納金額	●					
18	領収年月日	●					
19	発生理由	●					
18	備考1（固定文言1）	●					文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促料
19	固定文言2 + 編集1	●					文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促料 等
20	金融機関名	●					
21	支店名	●					
22	種目	●					
23	口座番号	●					機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする
24	口座名義人	●					半角カナで印字すること
25	補足説明文	●					文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 上記、過誤納金額分を次のいずれかの方法でお取扱いいただくことになります。 1. 取扱金融機関を登録されている方、上記指定口座に還付金を振り込みます。 2. 取扱金融機関を登録されていない方、●●課で還付金をお返しすることになります。 持参するもの（1）この通知書（2）被保険者証
26	問い合わせ先	●					マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名 + 部署名
27	担当部署住所	●					マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号 + 全角スペース + 住所
28	担当部署電話番号	●					マスタ管理している問合せ先情報を設定
29	担当部署FAX番号	●	●				マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
30	担当部署メール	●	●				マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

業務		04. 保険料収納		帳票名称		06 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	発行年月日	●			和暦表記		
2	-----	●					
2	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料収納状況のお知らせ		
3	被保険者氏名	●					
4	被保険者番号	●					
5	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 当期までの未済額、および、納期未到来分の未済額をお知らせします。		
6	相当年度	●			和暦表記		
7	賦課年度	●	●		和暦表記		
8	賦課管理番号	●					
8	期別納期	●					
9	納期限	●			和暦表記		
10	保険料	●					
11	延滞金	●			基準日までの延滞金		
12	督促手数料	●					
12	未済額計	●					
13	備考1 (固定文言1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料		
14	固定文言2 + 編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料 等		
15	合計 (保険料)	●					
16	合計 (延滞金)	●					
18	合計 (督促手数料)	●					
17	合計 (未済額計)	●					
18	固定文言3 + 編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 合計 (督促手数料) 等		
20	基準日	●			和暦表記		
19	補足説明文[基準日]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) [基準日]: システム印字項目 なお、保険料欄に未済金額がある場合、延滞金欄には試算値として [基準日] 時点での延滞金未済額を記載しています。		
20	ページ数	●					
21	総ページ数	●					

業務	04. 保険料収納	帳票名称	07 後期高齢者医療保険料納付証明書・確認書
----	-----------	------	------------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など	
		必須	オプション	不可		
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする（納付証明書と納付確認書はそれぞれ別の文書番号として扱うこと）	
2	発行年月日	●			和暦表記	
2	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号	
4	自治体の名称	●			自治体一言長者	
5	自治体の印	●				
3	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例1：納付証明書) 後期高齢者医療保険料 納付証明書 (印字例2：納付確認書) 後期高齢者医療保険料 納付確認書	
4	被保険者氏名番号	●				
5	被保険者番号共名	●				
9	被保険者住所		●			
10	集計開始日	●			和暦表記	
11	集計終了日	●			和暦表記	
6	案内文1 [集計開始日][集計終了日]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [集計開始日]：システム印字項目 [集計終了日]：システム印字項目 (印字例) あなたが[集計開始日]～[集計終了日]までに支払った後期高齢者医療保険料は以下のとおりです。	
10	金額タイトル	●			過誤納額の計上有無で、以下の例のように文言を印字する。 —(例1：過誤納額を計上しない) 収納済額 —(例2：過誤納額を計上する) 収入済額	
7	表見出し1 [金額タイトル]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [金額タイトル]：システム印字項目（過誤納額の計上有無で、以下の例のように文言を印字する。（例1：過誤納額を計上しない）収納済額、（例2：過誤納額を計上する）収入済額） (印字例) [金額タイトル]保険料額（内非課税年金分） 納付見込額（内非課税年金分） 滞納額	
8	表見出し2 [金額タイトル]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [金額タイトル]：システム印字項目（過誤納額の計上有無で、以下の例のように文言を印字する。（例1：過誤納額を計上しない）収納済額、（例2：過誤納額を計上する）収入済額） (印字例) 特別徴収分[金額タイトル]保険料額（内非課税年金分） 納付見込額	
9	表見出し3 [金額タイトル]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [金額タイトル]：システム印字項目（過誤納額の計上有無で、以下の例のように文言を印字する。（例1：過誤納額を計上しない）収納済額、（例2：過誤納額を計上する）収入済額） (印字例) 普通徴収分[金額タイトル]保険料額 納付見込額 滞納額	
10	年度	●			集計開始日～集計終了日に納付された保険料の相当年度 和暦表記	
11	※「表見出し1」列	保険料額	納付額	●		集計開始日～集計終了日に納付された保険料額 (年度に該当する対象の合計、見込額も含む金額) ※見込額を出力する場合は見込額も含む金額
12		非課税年金額1		●		納付額のうち、非課税年金分の金額
13		納付見込額		●	●	集計開始日～集計終了日に納付される今後の納付見込保険料額 (年度に該当する対象の合計) ※括弧で括って印字
14		非課税年金額2		●		納付見込額のうち、非課税年金分の金額
15		滞納額		●		未納金額（納期到来分）
16	※「表見出し2」列	特別徴収分保険料額	納付額	●		集計開始日～集計終了日に納付された特別徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計、見込額も含む金額) ※見込額を出力する場合は見込額も含む金額
17		非課税年金額1		●		納付額のうち、非課税年金分の金額
18		納付見込額		●	●	集計開始日～集計終了日に納付される今後の納付見込特別徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計) ※括弧で括って印字
19	非課税年金額2		●		納付見込額のうち、非課税年金分の金額	
20	※「表見出し3」列	普通徴収分保険料額	納付額	●		集計開始日～集計終了日に納付された普通徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計、見込額も含む金額) ※見込額を出力する場合は見込額も含む金額
21		納付見込額		●	●	集計開始日～集計終了日に納付される今後の納付見込普通徴収分保険料額 (年度に該当する対象の合計) ※括弧で括って印字
22		滞納額		●		未納金額（納期到来分）
20	備考	●			個別に設定されているデータがある場合は、備考欄に出力	

業務	04.保険料収納		帳票名称		07 後期高齢者医療保険料納付証明書・確認書
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
23	合計（保険料額）	納付額合計	●		集計開始日～集計終了日に納付された保険料額の合計 ※見込額を出力する場合は見込額も含む金額
24	※「表見出し1」列	非課税年金額1	●		納付額のうち、非課税年金分の金額の合計
25		納付見込額合計	●	●	集計開始日～集計終了日に納付される今後の納付見込保険料額の合計 ※括弧で括って印字
26		非課税年金額2	●		納付見込額のうち、非課税年金分の金額の合計
27		滞納額	●		未納金額（納期到来分）の合計
28		合計（特別徴収分保険料額）	納付額合計	●	
29	※「表見出し2」列	非課税年金額1	●		納付額のうち、非課税年金分の金額の合計
30		納付見込額合計	●	●	集計開始日～集計終了日に納付される今後の納付見込特別徴収分保険料額の合計 ※括弧で括って印字
31		非課税年金額2	●		納付見込額のうち、非課税年金分の金額の合計
32	合計（普通徴収分保険料額） ※「表見出し3」列	納付額合計	●		集計開始日～集計終了日に納付された普通徴収分保険料額の合計 ※見込額を出力する場合は見込額も含む金額
33		納付見込額合計	●	●	集計開始日～集計終了日に納付される今後の納付見込普通徴収分保険料額の合計 ※括弧で括って印字
34		滞納額	●		未納金額（納期到来分）の合計
35		固定文言1 説明文言	●	●	見込額を出力する場合に以下の例のように文言を印字する。 —(例)—(括弧内は見込額)— 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 括弧内は非課税年金額が表示されています。滞納額には、納期到来済の未納金額が表示されています。
36	案内文2	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例1：納付証明書) 上記のとおり後期高齢者医療保険料を納付したことを証明します。 (印字例2：納付確認書) あなたが納めた後期高齢者医療保険料は上記のとおりです。	
37	発行年月日	●		和暦表記	
38	自治体の名称	●		自治体*首長名	
39	自治体の印	●		(納付証明書の場合) 公印を出力すること (納付確認書の場合) 公印を出力しないこと	
40	問合せ先	担当部署名	●	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名
41		担当部署住所	●	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所
42		担当部署電話番号	●	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定
43		担当部署FAX番号	●	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
44		担当部署メール	●	●	マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
45	ページ数	●			
46	総ページ数	●			
47	タイトル	●		1ページ目と同様の印字編集条件で出力する	
48	被保険者氏名	●		1ページ目と同様の印字編集条件で出力する	
49	被保険者番号	●		1ページ目と同様の印字編集条件で出力する	
50	明細	相当年度	●		和暦表記
51		賦課年度	●		和暦表記
52		徴収方法	●		
53		期別	●		
54		納付額	●		1枚目の出力条件と同様
55		納付見込額	●		1枚目の出力条件と同様
56		滞納額	●		1枚目の出力条件と同様
57	備考（固定文言2）	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号	
58		固定文言3 + 編集1	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
59	ページ数	●			
60	総ページ数	●			

業務		05.滞納管理		帳票名称		01 後期高齢者医療保険料督促状		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など			
		必須	オプション	不可				
1	文書番号	●	●		機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする			
2	発行年月日	●			和暦表記			
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号			
4	自治体の名称	●			自治体+首長名			
5	自治体の印	●			和暦表記			
6	タイトル[相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 督促状			
7	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]：システム印字項目（和暦表記） [指定納期限]：システム印字項目（和暦表記） [自治体名]：システム印字項目（印字例） 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この督促状の指定納期限まで納付されないときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることとなります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。			
8	被保険者氏名番号	●						
9	被保険者番号氏名	●						
10	通知書番号	●	●		未納期別の納入通知書における通知書番号			
11	相当年度	●			和暦表記			
12	賦課年度	●	●		和暦表記			
13	期別	●			賦課管理番号			
14	保険料	●						
15	納期限	●			和暦表記			
16	備考（固定文言1）	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額			
17	固定文言2+編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、延滞金、督促手数料、指定納期限、総合計額 等			
18	補足説明文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ※ 最近納付された方で、この督促状が行き違いに送達された場合は、ご了承願います。 ※ 領収証は5年間保存願います。			
19	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名			
20		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所			
21		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定			
22		担当部署FAX番号		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
23		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		
24	不服の申立	教示文[担当部署名][担当自治体名]	●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（市区町村名+部署名）） [担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定） (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときに除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。			
26		担当部署名	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定 市区町村名+部署名			
27		担当自治体名	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定			
25		担当部署郵便番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定			
26		担当部署住所	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定			
27		担当部署電話番号	●		マスタ管理している不服申立先情報を設定			

業務		05. 滞納管理		帳票名称		02 後期高齢者医療保険料催告書		
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など			
		必須	オプション	不可				
1	文書番号	●	●		機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする			
2	発行年月日	●			和暦表記			
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号			
4	自治体の名称	●			自治体+首長名			
5	自治体の印	●						
6	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料催告書			
6	基準日	●			和暦表記			
7	指定納期限	●			和暦表記			
8	自治体名	●						
9	延滞金率四番号	●						
7	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]: システム印字項目 (和暦表記) [指定納期限]: システム印字項目 (和暦表記) [自治体名]: システム印字項目 (印字例) 保険料が、[基準日]現在、下記のとおり滞納になっておりますので、納付について確認のうえ、[指定納期限]まで自治体窓口または指定金融機関等に納付してください。 この催告書の指定納期限まで納付されないときは、地方自治法第231条の3の規定により滞納処分を受けることとなります。 また、[自治体名]後期高齢者医療条例第●●●条の規定により、延滞金及び督促手数料も併せて納付願います。			
8	被保険者氏名番号	●						
9	被保険者番号氏名	●						
10	通知書番号	●	●		未納期別の納入通知書における通知書番号			
11	保険料合計	●						
12	督促手数料合計	●						
12	延滞金合計	●						
12	総合計	●			督促手数料、延滞金がある場合は保険料合計に左記を加えた金額			
13	備考1 (固定文言1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料合計、延滞金合計、指定納期限			
14	固定文言2 + 編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字内容) 督促手数料合計、延滞金合計、指定納期限 等			
15	ページ数	●			催告書、催告書別紙を含めた現在のページ数			
16	総ページ数	●			催告書、催告書別紙を含めた総ページ数			
17	詳細	相当年度	●		和暦表記			
18		賦課年度	●	●	和暦表記			
19		賦課	●		賦課管理番号			
19		期別	●					
20		納期限	●		和暦表記			
21		保険料	●					
22		督促手数料	●					
24		延滞金 (延滞金算出対象日数)	●		延滞金算出対象日数			
22		合計	●		督促手数料、延滞金がある場合は保険料に左記を加えた金額			
23		備考2 (固定文言3)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金 (延滞金算出対象日数)		
24	固定文言4 + 編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字内容) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金 (延滞金算出対象日数) 等			
25	補足説明文[基準日]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]: システム印字項目 (和暦表記) (印字例) ※ 延滞金は、[基準日]現在で計算しておりますが、納入日より再計算した金額となります。納期限の翌日から、納入した日までの日数に応じて再計算されますので、ご了承願います。 ※ 最近納付された方で、この催告書が行き違いに送達された場合は、ご了承願います。 ※ 領収証は5年間保存願います。 ※ 延滞金が無い場合、保険料合計欄と総合計欄の金額は同額となります。			
26	問い合わせ先	担当部署名	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名			
27		担当部署住所	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所			
28		担当部署電話番号	●		マスタ管理している問合せ先情報を設定			
29		担当部署FAX番号		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること		
30		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること		

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
31	不服の申立	教示文[担当部署名][担当自治体名]	●			<p>文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（市区町村名+部署名）） [担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定） (印字例) 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[担当自治体名]を被告として提起することができます。</p> <p>なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときに除く。）でなければ提起することができないこととされています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
32		担当部署名	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定 市区町村名+部署名
34		担当自治体名	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
32		担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
33		担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
34		担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定

業務		05. 滞納管理		帳票名称		03 後期高齢者医療保険料催告書別紙	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など		
		必須	オプション	不可			
1	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料催告書		
2	被保険者氏名番号	●					
3	被保険者番号氏名	●					
4	通知書番号	●	●		未納期別の納入通知書における通知書番号		
5	ページ数	●			催告書、催告書別紙を含めた現在のページ数		
6	総ページ数	●			催告書、催告書別紙を含めた総ページ数		
7	詳細	相当年度	●		和暦表記		
8		賦課年度	●	●	和暦表記		
9		期別	●		賦課管理番号		
10		納期限	●		和暦表記		
11		保険料	●				
12		督促手数料	●				
13		延滞金(延滞金算出対象日数)	●			基準日(催告書出力項目)までの延滞金、延滞金算出対象の日数を設定 督促手数料、延滞金がある場合は保険料に左記を加えた金額	
14		合計	●				
13		備考(固定文言1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金(延滞金算出対象日数)	
14		固定文言2+編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字内容) 賦課管理番号、督促手数料、延滞金(延滞金算出対象日数) 等	
15		補足説明文[基準日]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [基準日]: システム印字項目(和暦表記) (印字例) ※ 延滞金は、[基準日]現在で計算しておりますが、納入日より再計算した金額となります。納期限の翌日から、納入した日までの日数に応じて再計算されますので、ご了承ください。	

業務		05.滞納管理		帳票名称		04 後期高齢者医療保険料分納誓約書																																							
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など																																								
		必須	オプション	不可																																									
1	発書番号	●			和暦表記																																								
1	発行年月日	●																																											
2	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号																																								
4	自治体の名称	●			自治体一言異名																																								
5	自治体のID	●																																											
3	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 分納誓約書																																								
4	自治体の名称	●			パラメタなどにより初期設定が行えること																																								
5	固定文言1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 私は、下記の事由により現在のところ、保険料を完納することができません。 つきましては保険料を、下記の分納計画のとおり納入することを誓約いたします。 なお、誓約違反のときは、地方税法の定めるところにより私の所有財産の差押(公売)処分を受けても異議ありません。																																								
6	被保険者氏名番号	●																																											
7	被保険者番号氏名	●																																											
8	備考1 (固定文言2)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 納付方法																																								
9	固定文言3 + 編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 納付方法 等																																								
10	固定文言4	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 1 事業不振 2 病気 3 失職 4 その他																																								
11	備考2 (固定文言5)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 来庁者																																								
12	固定文言6	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 1 世帯主 2 主の妻(夫) 3 家族 4 その他																																								
10	賦課年度	●			和暦表記																																								
13	分納誓約日	●			和暦表記 自署の場合は印字しない																																								
14	分納計画 ※分納期別に応じて、1行目～N行目まで印字	●			※分納期別に該当する分納対象(通番1749～通番2045の出力対象)が複数存在する場合は2行目以降は空白 ・出力例(通番149～通番2245) 普徴1期(3,000円)、普徴2期(3,000円)を3回で徴収 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分納期別</th> <th>徴収期限</th> <th>徴収額</th> <th>相当年度</th> <th>賦課年度</th> <th>元普徴期別</th> <th>保険料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分納 1期</td> <td>令和 3年 4月30日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 1期</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分納 2期</td> <td>令和 3年 5月31日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 1期</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分納 3期</td> <td>令和 3年 6月30日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 2期</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分納 3期</td> <td>令和 3年 6月30日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 2期</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考	分納 1期	令和 3年 4月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000		分納 2期	令和 3年 5月31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000		分納 3期	令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000		分納 3期	令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	2,000	
分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考																																						
分納 1期	令和 3年 4月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000																																							
分納 2期	令和 3年 5月31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000																																							
分納 3期	令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000																																							
分納 3期	令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	2,000																																							
15	徴収期限	●			和暦表記 ※分納期別に該当する分納対象(通番1749～通番2045の出力対象)が複数存在する場合は2行目以降は空白																																								
16	徴収額	●			分納期別の徴収額 ※分納期別に該当する分納対象(通番1749～通番2045の出力対象)が複数存在する場合は2行目以降は空白																																								
17	相当年度	●			分納対象の相当年度 和暦表記																																								
15	賦課管理番号	●			分納対象の賦課管理番号																																								
18	賦課年度	●			分納対象の賦課年度 和暦表記																																								
19	元普徴期別	●			分納対象の期別																																								
20	保険料	●			通番1644の徴収額の内、分納対象の期別の徴収額																																								
21	備考3 (固定文言7)	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額																																								
22	固定文言8 + 編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																								
23	徴収合計額	●																																											
24	ページ数	●																																											
25	総ページ数	●																																											
26	問い合わせ先																																												
	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名																																								
27	担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所																																								
28	担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定																																								
29	担当部署FAX番号		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること																																								
30	担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること																																								

業務		05. 滞納管理		帳票名称		05 後期高齢者医療保険料分納承認連絡書																																	
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など																																		
		必須	オプション	不可																																			
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする																																		
2	発行年月日	●			和暦表記																																		
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、 対象者氏名 、カスタマバーコード、 対象者番号																																		
4	自治体の名称	●			自治体+首長名																																		
5	自治体の印	●																																					
6	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料 分納承認連絡書																																		
6	賦課年度	●			和暦表記																																		
7	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 後期高齢者医療保険料の分納については、下記の通り承認しましたので通知します。																																		
8	被保険者氏名番号	●																																					
9	被保険者番号共有	●																																					
10	分納承認年月日	●			和暦表記																																		
11	分納計画 ※分納期別に応じて、1行目～N行目まで印字	●			※分納期別に該当する分納対象（通番144#～通番174#の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白 ・出力例（通番114#～通番194#） 普徴1期（3,000円）、普徴2期（3,000円）を3回で徴収																																		
	分納期別				<table border="1"> <thead> <tr> <th>分納期別</th> <th>徴収期限</th> <th>徴収額</th> <th>相当年度</th> <th>賦課年度</th> <th>元普徴期別</th> <th>保険料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分納 1期</td> <td>令和 3年 4月30日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 1期</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分納 2期</td> <td>令和 3年 5月31日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 1期</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分納 3期</td> <td>令和 3年 6月30日</td> <td>2,000</td> <td>令和 3年</td> <td>令和 3年</td> <td>普徴 2期</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			分納期別	徴収期限	徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考	分納 1期	令和 3年 4月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000		分納 2期	令和 3年 5月31日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000		分納 3期	令和 3年 6月30日	2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000	
分納期別	徴収期限				徴収額	相当年度	賦課年度	元普徴期別	保険料	備考																													
分納 1期	令和 3年 4月30日				2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	2,000																														
分納 2期	令和 3年 5月31日				2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 1期	1,000																														
分納 3期	令和 3年 6月30日				2,000	令和 3年	令和 3年	普徴 2期	1,000																														
12	徴収期限				和暦表記 ※分納期別に該当する分納対象（通番144#～通番174#の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白																																		
13	徴収額				分納期別の徴収額 ※分納期別に該当する分納対象（通番144#～通番174#の出力対象）が複数存在する場合は2行目以降は空白																																		
14	相当年度				分納対象の相当年度 和暦表記																																		
14	賦課管理番号				分納対象の賦課管理番号																																		
15	賦課年度				分納対象の賦課年度 和暦表記																																		
16	元普徴期別				分納対象の期別																																		
17	保険料				通番134#の徴収額の内、分納対象の期別の徴収額																																		
18	備考（固定文言1）				文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																		
19	固定文言2+編集1				文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号、督促手数料未納額、延滞金未納額 等																																		
20	徴収合計額				●																																		
21	ページ数				●																																		
22	総ページ数				●																																		
23	問い合わせ先				●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名+部署名																															
24	担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号+全角スペース+住所																																		
25	担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定																																		
26	担当部署FAX番号		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること																																		
27	担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること																																		